

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,456	67,287
受取手形及び売掛金	53,386	44,513
有価証券	8,300	10,327
商品及び製品	9,430	14,196
仕掛品	934	1,548
原材料及び貯蔵品	3,279	3,646
その他	2,167	2,242
貸倒引当金	△131	△75
流動資産合計	151,824	143,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,447	8,711
機械装置及び運搬具(純額)	4,466	4,878
工具、器具及び備品(純額)	1,457	1,445
土地	3,625	4,117
リース資産(純額)	515	799
建設仮勘定	512	810
有形固定資産合計	19,024	20,763
無形固定資産		
のれん	3,241	2,491
商標権	108	98
ソフトウェア	905	958
その他	567	545
無形固定資産合計	4,823	4,094
投資その他の資産		
投資有価証券	45,916	43,323
長期貸付金	386	497
繰延税金資産	1,627	1,931
投資不動産(純額)	2,956	2,942
その他	2,697	2,768
貸倒引当金	△469	△548
投資その他の資産合計	53,115	50,914
固定資産合計	76,963	75,772
資産合計	228,787	219,459

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,706	9,366
電子記録債務	9,070	8,557
短期借入金	506	26
未払金	25,126	19,911
リース債務	53	159
未払法人税等	4,423	4,002
未払消費税等	1,187	571
返品調整引当金	1,638	1,255
賞与引当金	2,355	2,262
資産除去債務	42	42
その他	1,940	2,041
流動負債合計	55,053	48,200
固定負債		
リース債務	472	648
繰延税金負債	2,812	2,859
退職給付に係る負債	2,057	2,038
役員退職慰労引当金	38	38
資産除去債務	77	78
その他	2,027	2,604
固定負債合計	7,485	8,267
負債合計	62,538	56,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,183	4,183
利益剰余金	159,857	165,292
自己株式	△11,763	△19,762
株主資本合計	155,728	153,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,636	12,478
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	△318	△988
退職給付に係る調整累計額	△1,798	△1,662
その他の包括利益累計額合計	10,520	9,828
純資産合計	166,249	162,992
負債純資産合計	228,787	219,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	72,678	73,630
売上原価	26,337	26,639
売上総利益	46,341	46,990
販売費及び一般管理費	34,738	35,569
営業利益	11,602	11,421
営業外収益		
受取利息	119	166
受取配当金	215	414
不動産賃貸料	146	145
その他	145	138
営業外収益合計	627	865
営業外費用		
支払利息	3	8
売上割引	302	291
不動産賃貸原価	35	41
為替差損	174	155
その他	180	155
営業外費用合計	696	652
経常利益	11,533	11,635
特別利益		
新株予約権戻入益	5	—
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	—	2
事業譲渡益	—	600
その他	0	0
特別利益合計	6	605
特別損失		
固定資産除売却損	55	52
減損損失	755	552
関係会社株式評価損	—	50
その他	1	0
特別損失合計	812	655
税金等調整前四半期純利益	10,727	11,585
法人税、住民税及び事業税	3,392	3,628
法人税等調整額	△294	△245
法人税等合計	3,097	3,383
四半期純利益	7,629	8,202
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,629	8,202

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	7,629	8,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	655	△158
繰延ヘッジ損益	△6	△1
為替換算調整勘定	△664	△669
退職給付に係る調整額	140	136
その他の包括利益合計	124	△692
四半期包括利益	7,753	7,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,753	7,509
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,727	11,585
減価償却費	1,394	1,464
関係会社株式評価損	—	50
減損損失	755	552
のれん償却額	217	230
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	45	25
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△45	△27
受取利息及び受取配当金	△334	△581
支払利息	3	8
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△2
固定資産除売却損益 (△は益)	55	49
事業譲渡損益 (△は益)	—	△600
売上債権の増減額 (△は増加)	7,201	8,832
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,637	△5,412
仕入債務の増減額 (△は減少)	△492	△32
未払金の増減額 (△は減少)	△5,019	△4,663
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△619	△621
その他	△144	△189
小計	10,108	10,667
利息及び配当金の受取額	349	633
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△4,037	△4,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,418	7,272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△32,992	△30,745
定期預金の払戻による収入	29,344	29,589
有形固定資産の取得による支出	△1,884	△2,331
有形固定資産の売却による収入	0	13
無形固定資産の取得による支出	△157	△135
投資有価証券の取得による支出	△11	△9
投資有価証券の売却による収入	2	3
投資その他の資産の取得による支出	△75	△135
投資その他の資産の売却による収入	33	26
短期貸付金の増減額 (△は増加)	0	1
長期貸付けによる支出	△44	△97
長期貸付金の回収による収入	0	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,834	△1,054
子会社の清算による収入	—	293
事業譲渡による収入	—	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,618	△3,981
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1	△488
自己株式の取得による支出	—	△8,014
自己株式の処分による収入	361	—
配当金の支払額	△2,368	△2,764
リース債務の返済による支出	△27	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,035	△11,351
現金及び現金同等物に係る換算差額	△398	△282
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,633	△8,342
現金及び現金同等物の期首残高	48,688	55,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,054	47,573

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年1月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式909,500株の取得を行いました。その結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が7,999百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が19,762百万円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	国内 家庭用 品製造 販売事 業	海外 家庭用 品製造 販売事 業	通信 販売事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,382	9,646	5,109	72,137	541	72,678	—	72,678
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,966	470	—	3,436	2,655	6,092	△6,092	—
計	60,348	10,116	5,109	75,574	3,197	78,771	△6,092	72,678
セグメント利益	11,159	140	80	11,380	591	11,971	△438	11,533

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△438百万円は、セグメント間取引消去及び各事業セグメントに配分していない収益及び費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、投資額の回収が困難となったのれんについて減損損失を計上しております。

当該事象による減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、753百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

上記(固定資産に係る重要な減損損失)で記載したとおり、「海外家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、のれんを減損しております。

当該事象によるのれんの減少額は、当第2四半期連結累計期間においては、753百万円であります。

また、同セグメントにおいて、小林製薬(中国)有限公司が江蘇小林製薬有限公司の全持分を取得したことに伴い、のれんを計上しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、1,534百万円であります。

なお、当該のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定に伴う見直し反映後の金額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	国内 家庭用 品製造 販売事 業	海外 家庭用 品製造 販売事 業	通信 販売事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,975	10,132	4,952	73,061	568	73,630	—	73,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,453	552	—	4,005	2,723	6,729	△6,729	—
計	61,429	10,685	4,952	77,067	3,291	80,359	△6,729	73,630
セグメント利益	10,901	149	143	11,194	903	12,098	△463	11,635

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△463百万円は、セグメント間取引消去及び各事業セグメントに配分していない収益及び費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において「その他」に区分しておりましたKobayashi Pharmaceuticals of America, Inc. は、2019年1月1日付で、当社の連結子会社で「海外家庭用品製造販売事業」に区分されるKobayashi Healthcare International, Inc. を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、投資額の回収が困難となったのれんについて減損損失を計上しております。

当該事象による減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、549百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

上記(固定資産に係る重要な減損損失)で記載したとおり、「国内家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、のれんを減損しております。

当該事象によるのれんの減少額は、当第2四半期連結累計期間においては、549百万円であります。

また、同セグメントにおいて、2019年5月14日付で、株式会社梅丹本舗の株式を取得したことに伴い、のれんを計上しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、102百万円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。